

平成25年度 第3回道東ブロック審判講習会

日本公認審査会受験者最終選考会 報告書

1. 目的 (1) 日本公認審査会受験者の最終選考会とする。
(2) 日本公認審判員になるための心得を身につける。
2. 期 日 平成25年8月31日(土)・9月1日(日)
3. 会 場 1日目…『白樺学園高等学校』 芽室町北伏古東7線10番1 TEL0155-62-7411
2日目…『帯広南商業高等学校』帯広市西21条南5丁目36番地1 TEL0155-34-5852
4. 大 会 帯広地区高校生の練習試合
5. 講 師 久朗津義晃(道東ブロック長) 中田 英教(帯広地区審判長)
会田 壮志(北見地区審判長) 高坂 義隆(釧路地区審判長)
各地区日本公認審判員
6. 受講者 次期日本公認審判員18名
7. 日 程 1日目 31日(土)
8:40 開講式・ルールテスト
9:30 実技9ハーフゲーム
18:30 座学…とちプラザ会議室
「ルールテスト解答・審判員としての心得」
2日目 1日(日)
9:30 実技5ハーフゲーム
13:15 閉講式

8. 報 告

今年度の日本公認審査会を目指して、道東ブロックの最終セレクションを行いました。18名の候補者の内5名の審判員を日本公認審査会へ推薦することとなりました。

実技によるセレクションでは、各地区の日本公認審判員に協力していただき、評価シートによる評価を基にした具体的で詳細なアドバイスをを行い、課題点が明確になるように講習を行いました。夜は座学を行い、ルールテストの解答及び審判員としての心得を確認しました。

実技における全体的な課題点としては、精神的な余裕が持てずに、触れ合いのみにあわせて反応して不必要にゲームを止めてしまうことがあげられます。相手審判のほうスペースをとらえやすい位置で見ているにもかかわらず、ボールやプレイを追うことに精一杯になってしまい、無理をして遠くから難しいスペースに笛を入れてしまうことも見られました。落ち着いてプレイの流れを見取り、責任と影響について見極めた上で判定すること、相手審判の位置取りを視野に入れる余裕を持ち視野の分担をして相手審判に判定をあずけること、状況に応じてプレイを続けさせる余裕や包容力等も今後身につけていかなければならない課題であると思います。

講習会を行うにあたり、帯広地区のチーム関係の皆様にも多大なご協力をいただきました。また、各地区の日本公認審判員には、自身の指導力の向上と共に受講生への指導にご協力をいただき、有意義な講習になったこと深く感謝申し上げます、報告と致します。